

名古屋大学<<理学研究科・教授>>公募要領

1	募集件名	教授（常勤、任期なし）の公募	
2	所属	理学研究科理学専攻生命理学	
3	募集内容	[職務内容（業務内容、担当科目等）] ・生命科学分野の教育研究	
		[勤務地]	愛知県名古屋市千種区
		[募集人員]	教授（常勤、任期なし）・1名（着任後、助教を1名採用可）
		[着任時期]	2023年4月1日
4	募集研究分野	大分類	ライフサイエンス
		小分類	分子生物学、細胞生物学、ゲノム生物学、生物物理学等
5	勤務形態	常勤（任期なし）	
6	応募資格	<p>[必要な特定分野の資格・条件（学位等を含む）・専門性等の詳細]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 博士学位又は Ph.D.を有すること。 ・ 生命科学分野で独創的な最先端の研究を展開し、国際的に認知されていること。 ・ 日本語および英語で授業および学生の指導ができること。 ・ 学部及び大学院における教育（外国人学生に対する英語での教育を含む）に熱意、責任感及び協調性をもって取り組み、学位授与へ導く能力を有すること。 	
7	待遇	<p>[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによります。 ・ 給与は、本学において定める年俸制が適用されます。 	
8	応募期間	2022年8月1日～2022年10月31日	
9	応募・選考結果通知連絡先	<p>[応募方法（提出書類の送付先）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 提出書類 <ol style="list-style-type: none"> (1) 履歴書(顔写真付き) (2) 論文目録（原著論文とそれ以外を分けて記載） (3) これまでの研究概要（2,000字程度） (4) 今後の研究計画（1,000字程度） (5) 教育に対する抱負（1,000字程度） (6) その他参考となる事項 <ol style="list-style-type: none"> 1. 過去5年間の科学研究費補助金及び研究助成金の受領状況 2. 過去5年間の国際会議での招待講演、国際会議主催等の記録 3. 過去5年間のシンポジウム、ワークショップ、教育コース等に対する活動状況 4. 所属学会、学会活動、受賞等 (7) 国際的に認知された研究者3名の推薦状と連絡先 (8) 主要論文5編（PDFファイル） ・ 提出方法及び問合せ先 <p>上記の提出書類（1）～（7）を一つのPDFファイルにまとめ、主要論文5編のPDFファイルとともに、以下の電子メールアドレスに添付で送信してください。なお(7)については連絡先だけを記入し、推薦状は推薦者から期限内に別途ご送信いただいても構いません。メールの件名は、「2022教授応募」としてください。受領確認メールが届かない場合には、必ずご連絡ください。ファイルサイズが20MBを超える場合は、分割してください。また、問合せの際にも、以下の電子メールアドレスを使用してください。</p> 	

		<p>応募専用電子メールアドレス：seimei-koubo@bio.nagoya-u.ac.jp</p> <p>[選考内容（選考方法、採否の決定）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書類選考の上、面接を実施します。 ・面接実施者については、電子メール又は電話で連絡を行います。
10	そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋大学は業績(研究業績、教育業績、社会的貢献及び人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ・提出書類は、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募データは、本選考委員会が責任を持って処分します。 ・面接に要する交通費は、支給しません。 ・2021年11月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。フローチャートや「類型該当性の自己申告書」は、本公募要項に添付されているものをお使いください。

類型該当性の自己申告書

名古屋大学に教職員として応募する方、学生として出願する方には「外国為替及び外国貿易法」に基づく「みなし輸出」における管理対象であるかどうかの自己申告をお願いさせていただきます。

ご自身の立場について別紙フローチャートを参照いただき、該当の項目にチェックを入れて応募および出願の書類と一緒にご提出ください。

部局 _____

氏名 _____

類型①に該当 類型②に該当 類型③に該当 いずれにも該当しない

類型①～③に該当する方は下記にその根拠を記載し、エビデンスを提出してください

該当性の根拠

例：〇〇機関に雇用されている、〇〇から資金提供・奨学金を取得している、もしくは予定
()

エビデンス資料

例：海外機関の雇用証明書(雇用通知書・契約書)、海外機関からの資金提供通知書(個人)、奨学金の受給通知もしくは申請書など
()

※類型該当性の判断について不明な場合は下記にお問合せください。

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 安全保障輸出管理事務局

E-mail : anzen@aip.nagoya-u.ac.jp TEL : 052-747-6702

類型該当性判断のフローチャート

